令和6年度動物由来感染症サーベイランス結果報告

大阪府では、動物由来感染症の発生を防止し、又はまん延を防止するため、環境農林水産部と健康医療部が一体となって動物由来感染症の積極的な検査（サーベイランス）を実施しています。検査の結果は、以下のとおりです。

令和7年3月31日現在

感染症名	対象動物	検体	単位	令和7年2月まで			令和7年3月			令和6年度　計		
				検体数	陽性	陰性	検体数	陽性	陰性	検体数	陽性	陰性
結核	牛		頭	0	0	0				0	0	0
腸管出血性大腸菌	牛・めん山羊	糞便（農家）	検体	89	0	89				89	0	89
	牛	枝肉（食肉処理場）	検体	55	0	55	5	0	5	60	0	60
ウエストナイルウイルス感染症	蚊		匹	1455	0	1455				1455	0	1455
	野鳥	脳	羽	4	0	4				4	0	4
高病原性鳥インフルエンザ	鶏・アヒル	気管・クロアカスワブ	羽	330	0	330	30	0	30	360	0	360
		血清	羽	670	0	670	60	0	60	730	0	730
	野鳥	気管・クロアカスワブ	羽	52	0	52				52	0	52
	野鳥（渡り鳥）	糞便	検体	278	0	278	96	0	96	374	0	374
豚インフルエンザ	豚	肺・鼻腔スワブ	頭	1	0	1	1	0	1	2	0	2
デング熱	蚊		匹	1455	0	1455				1455	0	1455
ジカウイルス感染症	蚊		匹	1455	0	1455				1455	0	1455
チクングニア熱	蚊		匹	939	0	939				939	0	939
日本脳炎	豚	血清	頭	40	5	35				40	5 ※1	35
	蚊		匹	1455	0	1455				1455	0	1455
ブルセラ症	牛	血清	頭	4	0	4				4	0	4
レプトスピラ症	豚	腎	頭	1	0	1	1	0	1	2	0	2
	アライグマ	尿	頭	34	6	28	2	1	1	36	7 ※2	29
日本紅斑熱	アライグマ	血液	頭	100	49	51				100	49 ※3	51
狂犬病	犬	脳	頭	5	0	5	5	0	5	10	0	10
クリプトスポリジウム	牛	糞便	頭	10	0	10				10	0	10
	アライグマ	糞便	頭	100	5	95				100	5 ※4	95
BSE	牛	延髄（食肉処理場）	頭	0	0	0				0	0	0
		延髄（死亡牛）	頭	0	0	0				0	0	0
豚レンサ球菌感染症	豚	臓器・鼻汁	頭	1	1	0	1	0	1	2	1 ※5	1

※1　日本脳炎は、蚊の媒介によって感染するため、蚊に刺されないように注意しましょう。

※2　レプトスピラ症は、感染動物の尿に汚染された可能性のある水や土壌に素手で触れないよう注意し、また触れた場合は十分に洗浄、消毒してください。

※3　日本紅斑熱は、マダニ類に咬まれることにより感染する恐れがありますので、野山に入る時には肌を露出しない服装や、虫除けスプレーを使用する等、注意しましょう。

※4　クリプトスポリジウムは、汚染された水を飲むことにより感染することがありますので、野外で生水を飲まないようにしましょう。

※5　レンサ球菌感染症は、手指の衛生対策が重要です。手指等に外傷がある場合は、豚肉の取扱いの際に手袋を着用しましょう。